



EDUCATION

家庭、地域と三位一体となった教育の展開をめざして

野尻小学校

参加者全員が完走した持久走大会、貴重な体験となったもちつき、夏休みの学びを



もちつきの様子 防災学習の様子

野尻小学校では、「協働の学校づくりの推進」をめざし、地域住民とふれあう多くの学びの場を設定しています。中でも「野尻っ子祭り」は最も大きな行事です。

本年度も11月29日、多くの皆様方（保護者、学校運営協議会、東麓地区営農組合、高齢者クラブ、まちづくり協議会、輝けフロンティアのじり地域整備委員会、地域婦人連絡協議会、地域）にご参加、ご協力いただき「野尻っ子祭り」を行いました。600人を超える参加があり、昨年にも増して充実した「野尻っ子祭り」となりました。



SPORTS

第29回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト

野尻中が第一学習者賞 食育と健康に力を入れる



1野尻中の田之上見斗さんと中玉利綾乃さん 2野尻中央病院での筋力測定 3永久津中の有島若菜さん 4永久津中では、1月は放課後にスクワットを実施

体力・健康づくりを通して「生きる力」を育む中学校を応援する「第29回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト」で野尻中が第一学習者賞に、永久津中が優良賞に選ばれました。

野尻中では、生徒の90%を占める運動部員を対象に、近くの野尻中央病院の理学療法士と連携して、筋力や筋肉量などを定期的に測定、関節などの故障の早期発見と治療に注意を払っています。また、野尻小と栗須小と連携して、小・中学校の9年間の体力測定を集計、小学校時代から切れ目のない仕組みを作り上げてきました。また、歯の健康にも力を入れた、歯の健康にも力をいれ、全校で3分間の歯磨き



文化の足跡 TRACES

郷土の伝統風習～餅勸進～

Vol.66

餅勸進は、毎年1月14日の夜に厄年を迎えた男性が厚化粧の思い思いの姿に変装して、数人ずつで鳴り物や音楽を鳴らしながら複数件の民家をまわる厄払い行事です。変装をする理由は、自分が厄年（疫病神）とわかると家に入れてもらえないため、福の神に変装しているとも言われています。そのため、餅勸進は厄年だとバレないように無言で行われ、質問には首を縦に振るか横に振るかで意思表示をします。



音楽を鳴らしながら踊る様子 家内安全・無病息災を祈りお祓いをする

訪問を受けた家で餅を貰う（勸進する）のが古来の風習でしたが、最近では祝儀や焼酎を出すことが多いようです。焼酎などはその場でもふるまわれ、しゃべることのできないので、うまく断ることが

できず、どんどん飲まされてしまいます。また、神社などで祈願された「ほうき」や「お札」を持って家に入り、家の中を「ほうき」で掃くことでその家の厄を外に追い出し、家内安全を祈ります。それと同時に自分の厄を払う意味もあるようです。「ほうき」と「お札」は、祝儀や焼酎をいただいたお札にその家に置いて帰ります。一夜のうちに40軒近く訪問する地区もあり、現在も小林地区を中心に盛んに行われています。厄払いとともに訪れた家庭の家内安全と無病息災となる伝統奇祭です。



国際交流『シャネットの徒然なるままに』

WORLD

WIR SCHAFFEN DAS !

Vol.33



ドイツでは、毎年1月に「非言葉」が発表されます。「非言葉」というものは、人間の尊厳や民主主義を誹謗します。2015年の非言葉は「Gutbürger」という言葉に決定しました。Gutbürgerを「gut」→「よこ」と「Bürger」→「市民」に分解できますが、意味が随分離れています。難民を受けられるため、ボランティア活動を行う人々に対しての皮肉を加えた、嫌味たっぷりの中傷的な呼び方です。一つの言葉で、難民のために活動しているボランティアたちに「鈍くて、世情にうとい、ただ自分をよくみせたくて活動している」というレッテルをはっています。たった一語で、ドイツは難民問題でどなたも意見が分かれていないか、明確に難民問題は決して簡単に解決できる問題ではないと思えます。最後に、相変わらず前向きなメルケル首相の言葉で締めたいと思えます。Wir schaffen das! 我々は達成ができる！

※ PEGIDAとは「西洋のイスラム化に反対する欧州愛国者」の略称